

コミュニティバスの進捗は

～ 国土交通大臣から表彰 ～



あさくら ひでやす
朝倉秀康

市民クラブ

質

昨年本事業で、持続可能な公共ネットワークを実現したということで国土交通大臣から表彰されましたが、その後の進捗状況を伺う。①どのように見直したのか。②制度の利用PRは。③路線外地域の今後の展望は。

答

市長

①4月から三重町川辺区内、緒方町天神区内への乗り入れ、10月から朝地町でスクール

バスとコミュニティバスの混乗方式に切りかえ、路線を現在の5路線から10路線に増やします。また、道幅の狭い地域の乗り入れ等で14人乗りのワゴンタイプを2台追加運行する予定です。

②利用者が少ない路線やバス停は見直しや廃止を検討しますので、それぞれの地域で積極的に利用していただきたいと考えています。

③新規乗り入れなどは自治委員を通じて要望書の提出があれば、協議等行っています。

本年10月の見直しでは要望をもとに、菅尾線など3路線で新規乗り入れを行う予定です。

質

朝地町のスクールバスは学校まで乗り入れているが、信号機のパス停で全員降ろし登り

どうする市道の草刈り

～ 小規模集落応援隊を派遣 ～

答

教育長

再度検討して、できればそういう方向で考えています。

坂500メートルを歩いて登校させられないか。12年間歩くと成長期の体力の向上と道々友と話すことにより、いろんな絆が生まれると思うが。

質

過疎高齢地域では、懸命に市道の草刈りに頑張っているが、気力体力の衰えで不安な日々を送っている限界集落への市の対応は。

答

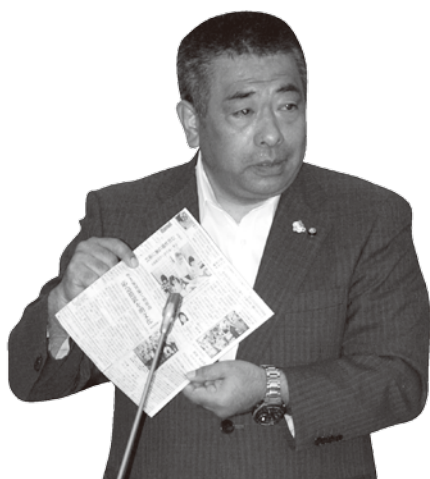
まちづくり推進課長

現在2006の自治会のうち、86が小規模集落で集落の共同作業が

困難になっていることから、小規模集落応援隊事業に取り組み、さまざまな活動団体を派遣し、集落の方と共同して道路の草刈りなどをしたいと思っています。今後は小規模集落の対策を総合戦略に盛り込み、地域活性化に向け取り組みます。



応援隊による草刈り（朝地町）



や 竜 藤 衛

市民クラブ

大分市との都市広域圏構想の 取り組みは

～ 大分市と連携市町との1対1の

連携協約を締結することになります～

質

国は新たな広域連携「連携中枢都市圏構想」を推進している。拠点都市の一つに大分市が選定され、大分市と別府市、臼杵市、津久見市、豊後大野市、由布市、日出町、竹田市の7市町と連携都市圏の新たな行政の枠組みを構築し取り組むと聞いた。

豊後大野市にとっても大きな期待のできる構想で、これからの協議の推移を見守りたい。現時点での構想、思いを伺う。

答
市長

協約は、地域の実情に応じた圏域全体の経済を牽引し、住民の暮らしを支える観点から、中枢都市と連携先の市町がそれぞれ役割分担をしながら三つの連携項目について、想定される分野や施策に関する協議を行います。

本市では特に、回遊型観光とツーリズムの広域連携、災害対応への広域連携、救急医療体制、消防の広域化、公共交通の確保、既存する公共施設の広域利用、ごみ処理の広域化について連携協議を行いたいと考えます。



大分都市広域圏推進会議

質

国が、空き家等対策の推進に関する特別措置法を公布した。それにより各自治体は、特定空き家等に対する措置に関する適切な実施に向け、どのような対応策を講じる検討が必要か。

住民が不安な 「特定空き家」への対策は

～ 分布状況や件数を抽出し

事態把握に努めます～

答
建設課長

効率的に調査・把握するためのデータを抽出する業務を委託し、市内全域の空き家等と思われる建築物の分布状況や件数を抽出し、抽出した情報をもとに現地確認を行い、特定空き家等の事態把握に努めます。

本市は豊後大野市空き家等の適正管理に関する条例を平成26年から施行しています。市の実態調査により空き家等の所有者等を調査し、適正な管理を行うための必要な措置について、助言または指導、さらに勧告、命令を行い、従わない者には住所及び氏名を公表することができるとするものです。